



新型コロナウイルスの影響により、地域の皆様との交流行事であるふれあい祭は、残念ながら昨年度に引き続き今年度も中止となりました。

せめて楽しみにしていた児童のために、昨年度は船学オリンピック2020を開催し、今年度も何か催しができないかと考えました。今年度は「FUNAGAKU FESTIVAL ~ On the sound of the wave ~」と題して、学園のみでフェスを開催！フェスというものをあまり知らない児童が多かったのですが、たくさんアイデア、パフォーマンスを児童、職員ともに考え、当日に向けて練習、準備してきました。

前日は大雨でしたが、当日は晴天に恵まれました。各部屋で装飾



を準備した個性あふれる模擬店。横断幕がセットされた大きなトラックステージ。それぞれグラウンドに準備され、いざ開幕！

午前の部では、よく食べ、よく遊び、よくはしゃぎ、午後の部では、盛りだくさんのパフォーマンスが繰り広げられ、寒さも忘れるほどの熱い学園フェスとなりました。みんな笑い、みんなで盛り上がり、この日のために作ったタオルをみんなで振り、児童、職員全員が一丸となった姿。みんなで何かできるこのうれしさ、楽しさ、すばらしさを改めて実感させられました。

来年度こそ地域の皆様と一緒にふれあい祭を実施できることを願い、今回の経験を糧に楽しい行事を考えていきたいと思えます。



自活訓練を終えて

一人の高校二年生の男子。高校生になって二回目の自活訓練が始まりました。今年は今までできなかったことをやってみよう！と決心したよ

うで、始まる前に話がありました。「カメラを貸して欲しいんだけど」。夜の振り返りで「これ、作ってみたよ。どう？やればできるでしょ」と夕食と朝の忙しい中で作った自慢のお弁当の写真を見せてくれました。

朝の大変苦手な彼です。「よく頑張ったね。すごいね！毎日早く起きてお弁当を作りたいに盛りつけて、昨年の反省が十分活かされているよね」とねぎらい、反省点を訊ねました。

「あるある、米をたくさん買いすぎちゃったよ。でも様子が良かったから次は挽回だ。今度は何時にやろうかな？」と答えが返ってきました。



とても上手にできていますね！

うちわ作り

時間をさかのぼって初夏のことになりますが、館山警察署主催の犯罪防止啓発活動である房州うちわ作り体験に、当園の四名の児童をご招待いただきました。

安房高等学校書道部の学生さんによる犯罪防止を願った言葉が書かれた紙を使い、好きな柄などを選んで、楽しみながら制作しました。

そして十月、館山警察署長から活動への参加について感謝をいただきました。児童の緊張しながら受け取っていた姿が印象的でした。



ボランティアさん募集！

あなたの趣味や特技を活かしてみませんか？

船形学園ではボランティアさんを募集しています。現在は新型コロナウイルスの感染拡大により休止していますが、感染状況が改善され次第、再開する予定です。

ボランティア活動に興味、関心がある方はぜひ当園のボランティア担当までご連絡ください。

編集後記

早いもので令和四年も二か月が過ぎようとしています。

皆様には日頃よりご支援、ご協力を賜わり心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの第五波が終息したのも束の間、変異型のオミクロン株の感染が拡大し、再び我慢の時間となってしまいました。児童、職員一同、引き続き感染対策を行いながら生活しております。皆様におかれましても、どうぞご自愛ください。

この号に関するお問い合わせは、船形学園広報担当までお願いいたします。

第六十号 編集長

船形学園の近況は

ブログでも発信しています
(こちらのQRコードから)



学園だより 「さざなみ」第60号
発行年月日 令和4年2月15日発行
編集・発行 東京都船形学園
千葉県館山市船形1377
電話 0470-27-2921
ホームページ
jigyodan.org/funakata-gakuen/

小学生会キャンプ

学園の小学生の横割り活動で、十月に一泊二日でキャンプを行いました。

一日目。五年生と六年生は一時間ほど自転車を走らせ、一年生から四年生はバスでキャンプ場に向かいました。協力してテントを張り、薪を割って火を起こし、ご飯を作りました。花火や肝試しもしました。



二日目。浜辺に移動して水遊びをして、その後は船に乗って釣りをしました。船酔いでダウンする児童もいましたが、たくさん釣れて最後は笑顔で釣り船の方々にお礼を伝えることができました。

今回のキャンプでは、何キロも自転車を走らせる、薪を割る、船に乗って釣りをするなど初めての体験がたくさんで、貴重な時間を過ごすことができました。そして、何よりみんなで協力して、優しさで笑顔の多い時間になりました。



ご寄贈 ありがとうございます

園長 長島建一

この度卒園生の湯浅一郎様から経机、香炉、電子黒板のご寄贈を頂きました。改めて御礼を申し上げます。

この機会に、学園の事業概要から、「よい子のお墓」についてお話をします。

明治四十二（一九〇九）年五月に養育院安房分院が船形の当地に開設され、当時は結核性児童に限らず、広く一般虚弱児童をも入所対象としていました。大正十二（一九二二）年九月の関東大震災により、ほとんどの建物が倒壊し、巢鴨分院に移転しました。震災による復旧工事が大正十四（一九二五）年三月に終了し、児童も巢鴨分院から戻りました。

昭和二十（一九四五）年二月から同年九月までの間、軍からの建物の明け渡し要請があり、塩原に疎開していました。

昭和三十四（一九五九）年五月に、これまでの物故児童のために現在の「よい子のお墓」が建立されました。

卒園生や以前に勤務されていた職員の方々からお線香やお花を供えていただいているとお聞きしています。

学園の各寮も当番制で清掃し花をお供えし、お墓をお守りしています。

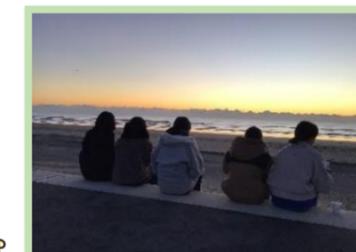


中学生横割り宿泊行事

今年は、きれいな日の出を見に行こうということで九十九里浜にお出かけしました。

せっかくの宿泊行事、ただ行くだけではつまらないので、チームに分かれて、現地まで好きなルートで向かい、道中でインスタ映えの写真を撮り（最優秀賞は学園ブログにも掲載）、夕食は自分たちで好きな料理を作りました。さらに翌日は有名店での蕎麦作り体験もしました。さらに、盛りだくさんの内容でした。

体験したことを書くだけで記事が埋まってしまう！が、中学生たちはとても楽しかったようです！



みんなで日の出を観賞

そば作り体験



映え写真📷
(最優秀賞その1)



映え写真📷
(最優秀賞その2)



きれいに撮れました！

11月 12月

クリスマスパーティー



もちつき

秋～冬の行事

1月



大縄跳び!

お年玉



東京湾フェリーに乗って
八景島シーパラダイスへ

アサーション(職員研修)

講師の方を招いて職員研修を行いました。

「アサーション」とは、相手の意見や気持ちを尊重しつつも、自分の主張を率直に伝えるためのコミュニケーションスキルです。

日頃の支援の中で、職員間でのやりとり、児童とのやりとりに学んだことを活用していきたいと思えます。

